

地域密着型サービス運営推進会議の記録

会議名称 : 平成29年度 第5回運営推進会議
事業所名 : 地域密着型介護老人福祉施設 越谷なごみの郷
サービス種類 : 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
会議開催日時 : 平成30年1月9日(火) 10時00分 ~ 11時00分
会議開催場所 : 地域密着型介護老人福祉施設 越谷なごみの郷 3F ラウンジ

《運営推進会議出席者》

入居者	0名
地域住民の代表	3名
知見を有する者	0名
地域包括支援センター職員	1名
事業者	5名

《議題》

- 運営推進会議構成員の紹介
- 平成29年11月～30年1月活動状況の報告

《活動状況の報告》

- 介護老人福祉施設における平成29年11月～30年1月 利用状況・活動内容等の報告
- 認知症対応型デイサービスにおける平成29年11月～30年1月 利用状況・活動内容等の報告

《要望、助言、意見等》

- 転倒事故の改善策として、センサーの導入なども検討されても良いのではないかと。
- 災害発生時には自助、共助、互助が大切。いざという時にお互い助け合えるように自治会と避難訓練を一緒に行う事を検討した方が良い。

《資料等》

- 運営報告
- 平成29年11月～平成30年1月度活動報告

《次回の会議》

- 次回議題
 - ・平成30年1月～平成30年3月の活動、状況報告
 - ・運営等についての意見交換
- 次回開催月日 平成30年3月9日(金) 10:00～
- 次回開催場所 地域密着型介護老人福祉施設 越谷なごみの郷 3F 研修室

平成 29 年度 第 5 回運営推進会議

平成 30 年 1 月 9 日 (火)
地域密着型介護老人福祉施設
越谷なごみの郷

1. 運営推進会議の趣旨

I. 運営推進会議の目的

1. 事業所運営の透明性の確保
2. サービスの質の確保
3. 事業所による「囲い込み」の防止
4. 地域との連携の確保

II. 地域密着型サービスの役割

- ① 本人本位の支援
- ② 継続的な支援
- ③ 地域で暮らし続けることの支援
- ④ 地域との支えあい等を理念とする地域密着型サービスは、入居者・利用者のより良い暮らしを着眼点に本人と地域との関係を断ち切らない支援

上記の役割を担うため、事業所と地域との良好な関係を築き、事業所が提供するサービスが、住民ニーズに即した価値のある地域資源として機能していく必要がある。利用者がどのような暮らしを望み、これからサービスを利用するかもしれない住民が何を期待しているのかを知らなければならぬ。

運営推進会議は、事業所と地域との関係をつなぐ一つの手段であり、地域密着型サービスを‘事業所と地域住民とが一緒に育てていく’ことを目的に行っていく。

2. 介護老人福祉施設

【運営状況報告】

● 介護老人福祉施設 11月8日～1月9日までの入居・退居状況

入居者	退居者	在籍者
2名	2名	29名

● 平均年齢と平均介護度

平均年齢	平均介護度
83.7歳	3.76

●人員体制 人員配置基準(2.5 : 1)

入職者・異動職員	退職者・異動職員	地域密着型施設の職員数
入職者=0名	退職者=0名 1月末で2名退職予定	21名 (フロア責任者、施設CM、産休者を含む)

● 事故・苦情の発生状況

種別	件数	事象	内容
事故	3件	転倒(3件)	① 14:30 トイレに行かれ、ズボンを上げようとされた際に、バランスを崩し転倒。 当時、職員が1名で対応中、トイレとフロア両方で転倒されそうな利用者が立ちあがっていた。 ② 18:40 リビングのイスから立ち上がり、バランスを崩した後方へ転倒。手すりの留め金に頭部をぶつけ、3cmほどの裂傷。 ③ 4:00 居室にて、ベッドから起き上がり降りようとされた際に、布団に足が絡まり、転落。外傷はなかった。
苦情	0件		

● 教育・研修等

マネジメント研修	12月中、計3回の内部研修(同法人フロア責任者対象)
嚙下機能向上研修	1月8~12日 ケアマネージャー・介護職対象
中堅職員研修	1月30日(同法人3年目及び中堅職員対象)

※ その他、今年度は法令に沿った研修を実施予定

【活動状況・予定】

食事に関すること	12月寿司バイキングを開催。 正月、おせち料理提供(外部から購入し提供) 1月ユニット1Fにて、鍋を囲む。 ◎入居者が一口でも自分の力で召しあがれるように、支援の見直しを行っている。
日常生活	生活環境の見直し。(建物内部の使用方法の見直し)
その他活動	消防訓練(11月24日) 元日の初詣(同地区内、八幡神社へ行った。)

3. 認知症対応型デイサービス

【運営状況報告】

● 11月8日～1月9日までの状況

新規利用者	契約終了者	在籍者
2名	1名	18名

● 平均年齢と平均介護度

平均年齢	平均介護度
82.0歳	3.2

● 人員体制

入職者・異動職員	退職者・異動職員	地域密着型施設の職員数
入職者＝0名 異動者＝0名	なし	7名 (管理者、兼務職員、運転職員含む)

● 事故・苦情の発生状況

種別	件数	事象	内容
事故	1件	転倒	・昼食時、全盲の方が立ち上がられトイレに行こうとされたことに職員が気づけず転倒してしまった。 全盲の為、転倒してしまう可能性が高い為、ご本人の動きに合わせた対応が行えるように職員がご本人の隣に位置し付き添うことが必要であった。
苦情	0件		

※H29年度 移乗、移動介助中の事故を前年度比50%削減（前年度3件）

● 教育・研修 予定

アセスメント勉強会	通所介護 生活相談員業務を行う職員が対象
嚥下機能向上委員会による研修	介護職員が対象（任意） ・飲み込みの不良から水分にトロミをつけている方について、現在のトロミの強さが適切であるか等を検討していく。
危険予知研修	・経験年数が3年未満の職員と3年以上の職員とグループを分け現在利用している方について、現在の情報の中から転倒等の事故に繋がる可能性のある事柄について抽出した。 →情報の量に差があった事や同じ情報から今後どのような事が起こりえるためにどんな対処が必要か等検討する事に差がみられていた。

※ その他、今年度は法令に沿った研修を実施予定

【活動状況・予定】

生活動作機能訓練	<ul style="list-style-type: none">・ 1人1人が役割を持てるように活動内容の提供を行う (買い物、調理活動(食事の準備、片づけ等)、その他家事活動)・ 洗濯物(タオル等)を干す事等行っている
身体機能訓練	<ul style="list-style-type: none">・ 1人1人の身体機能に合わせた機能訓練の実施している・ 館内散歩や買い物活動への参加により歩行する機会を増やす事を実施している・ 天候のよい日には、歩いて外を散歩する機会を増やしている
・ 自宅での課題解決 に向けて改善 提案が行える	<ul style="list-style-type: none">・ 1人暮らしの方で、洗濯が上手く出来なくなっている →DSで洗濯機を使用する際に、一緒に動作を行うことで洗濯機の使用 動作等を取り戻すことを行う